

定例会見(2019年5月21日)

議事次第

○定例会見 代表取締役社長 宮田 年耕

○会見内容

1. 2019事業年度事業計画の概要
2. 2019事業年度における主な施策について
 - [1]ネットワーク整備・更新事業の推進
 - [2]交通安全対策の推進
 - [3]環境への取組み
3. 東京2020大会に向けた今夏における当社のTDMへの取り組みについて
4. 開発した新たな技術
5. フィリピン国メトロパシフィック・トルウェイズ(MPTC)との技術協力覚書の締結について
6. 最近の通行台数状況

○質疑応答

1. 2019事業年度事業計画の概要

- 高速道路事業3,375億円、高速道路事業以外の事業404億円、総額3,779億円の事業費をもって、首都高を安全・安心・快適に保つ適切な管理、ネットワークの整備及び関連事業等を着実に推進

高速道路事業：3,375億円（前年度：2,974億円）

事業区分	事業の概要	事業費
高速道路の新設、改築	・横浜環状北西線等の新設 ・渋谷入口等の改築	769億円
	・東品川栈橋・鮫洲埋立部等の大規模更新	470億円
高速道路の維持、修繕	・首都高速道路320.1kmの維持、修繕	1,427億円
	・池尻・三軒茶屋出入口付近等の大規模更新 ・大規模修繕	708億円

高速道路事業以外の事業：404億円（前年度：298億円）

事業区分	事業の概要	事業費
パーキングエリアの管理	八潮パーキングエリア等の管理	0.5億円
国、地方公共団体等からの受託事業	横浜環状北西線設備工事等	354億円
その他の事業	駐車場事業、首都高速2号線高架下施設事業等	50億円

2. 2019事業年度における主な施策について

[1]ネットワーク整備・更新事業の推進

①横浜環状北西線

○高架部：桁架設工が完了(2019年4月)。床版工、料金所工等を実施中

○トンネル部：内部構築工、設備工等を実施中



写真① 横浜青葉JCT部(桁架設状況)



写真② トンネル部(内部構築工状況)



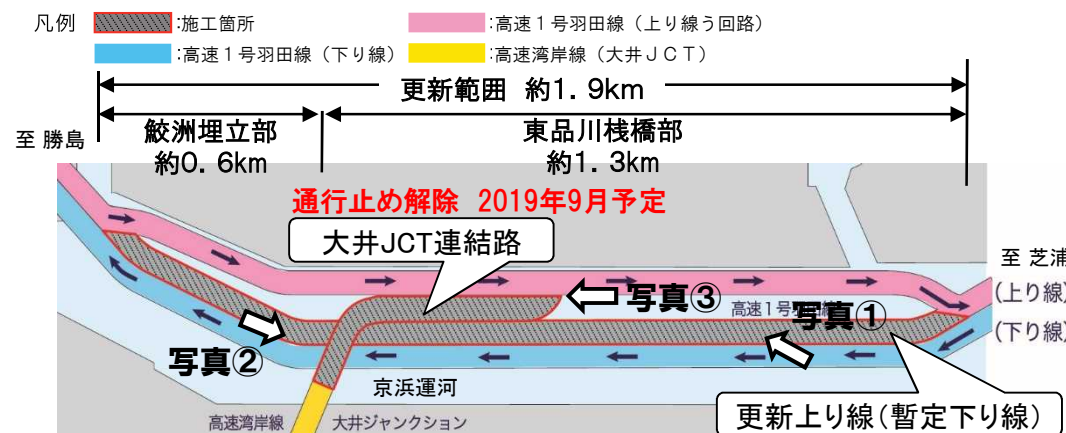
写真③ 横浜港北JCT部(桁架設状況)

②東品川栈橋・鮫洲埋立部更新

○東品川栈橋部：橋脚工が完了(2019年4月)。更新上り線の桁架設工等を実施中

○鮫洲埋立部：プレキャストボックス設置工が完了(2019年4月)

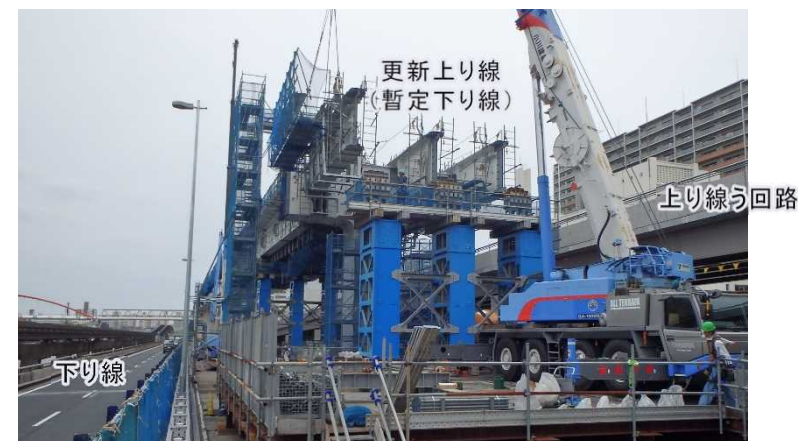
更新上り線の床版工等を実施中



東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会までに上り線を作り替え、暫定的に下り線として運用



写真② 鮫洲埋立部 床版工状況



写真① 東品川栈橋部 桁架設工状況



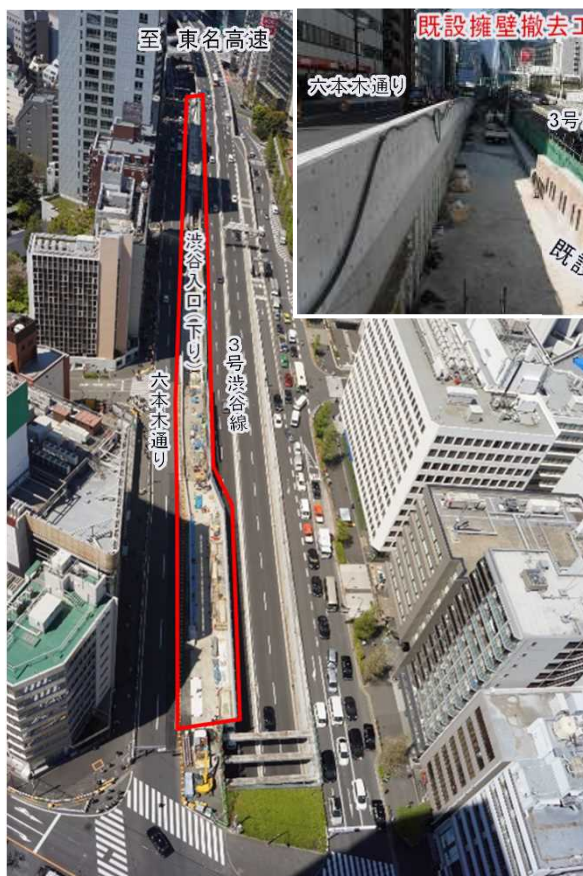
写真③ 東品川栈橋部 大井JCT連結路1号線接続部

③2019年度開通予定のプロジェクト

○渋谷入口(下り)：既設擁壁撤去工、料金所工等を実施中

○小松川JCT：料金所工等を実施中

○馬場出入口：料金所工、関連街路(大田神奈川線)の整備等を実施中



①渋谷入口(下り) 工事状況



②小松川JCT 工事状況



③横浜北線馬場出入口 工事状況

[2]交通安全対策の推進

2018年度の交通事故の状況

- 総事故件数 9,940件 対前年度比▲770件（前年度10,710件）
平成に入って初めて10,000件以下を達成
- 死傷事故件数 838件 対前年度比▲129件（前年度967件）
- 2019年度は更なる事故削減に向け、安全対策を推進

参考：二輪車の事故状況

総事故件数

二輪車:220件(529.3件／億台キロ) 全車種:9,940件(128.6件／億台キロ)

死傷事故件数

二輪車:88件(211.7件／億台キロ) 全車種:838件(10.8件／億台キロ)

※件数は首都高調べによるもの

※二輪車の走行台キロは、起終点調査結果に基づく推計値を使用したもの

①事故対策

<2019年度の主なハード対策>

- ・交通安全重点実施箇所(事故多発地点等約40箇所)の対策
区画線白実線化による整流化(車両接触事故対策)
カーブ区間の舗装打換え(施設接触事故対策、写真①)
- ・二輪車交通安全対策(フェンス設置、ジョイント滑り止め補修等、写真②)
- ・カーブ区間の事故リスク回避対策(舗装打換え)

<2019年度の主なソフト対策>

- ・ホームページやSNSを活用した交通安全啓発
- ・パーキングエリア等での交通安全キャンペーン
- ・道路パトロール車両による事故多発地点等での広報(写真③)



①舗装打換え・減速レーンマーク
(施設接触事故対策)



②フェンス設置・注意喚起カラー舗装
(二輪車安全対策／施設接触事故対策)



③LED車両による広報

② 歩行者等立入、逆走対策

＜本線の逆走対策＞

- ・本線合流部(305箇所)に路面矢印、高輝度矢印板・文字板、ラバーポールを2018年度末までに設置済(写真①)
- ・高速道路での逆走対策に関する有識者委員会(国交省主催)での公募技術の1つであるLED発光体付ラバーポールウイングサインを2019年度に7箇所を導入予定



① 本線合流部の逆走対策 (三郷JCT)

＜街路接続部の立入、逆走対策＞

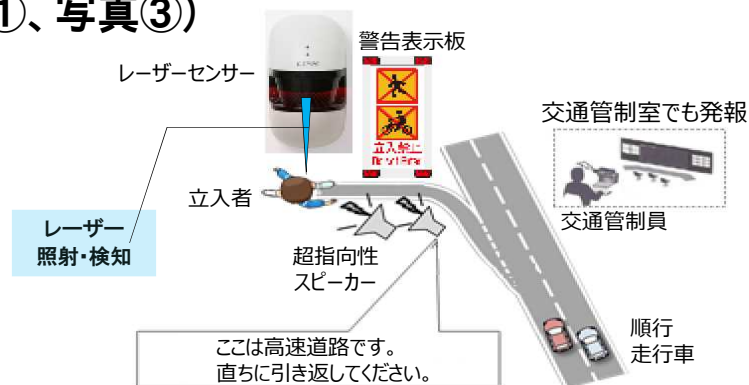
- ・ラバーポールや注意喚起看板等を2018年度は68箇所を設置済。2019年度は48箇所を設置予定
- ・原動機付自転車の立入対策として横断幕「有料道路」を2箇所を設置済(写真②)



② 原付立入対策 (入谷入口)

＜立入、逆走検知・警告システムの設置＞

- ・2018年度末までに41箇所で開催中。2019年度はレーザーセンサーにより検知し警告・発報するシステムを58箇所を設置予定(図①、写真③)



① 2019年度設置予定の検知・警告システム概要



③ システム設置例 (千住新橋[外]出口)



レーザーセンサー

③首都高専用の道路交通情報アプリ「mew-ti」※を活用した情報提供

- 首都高のルート検索、所要時間案内等の機能を持つ「mew-ti」アプリに新機能を追加(2019.3.25～)
- GPS機能をオンにしてルート検索し首都高を走行すると、走行位置に応じて安全走行のための様々な注意喚起情報をイラストと音声で提供

首都高専用の道路交通情報アプリ

ミュージーティ
mew-ti

ダウンロード 無料
iPhone 対応
Android 対応

あなただけの最適なルートをお手元でリアルタイム検索

●道路情報マップ
首都高のリアルタイム交通状況が一目でわかる

●所要時間・ルート検索
交通状況を踏まえた所要時間・ルート検索がテキスト入力または音声入力ですぐに

iPhoneアプリ
ダウンロードはこちら
iOS 9.0以上

Androidアプリ
ダウンロードはこちら
OS5.0以上

App Store
でダウンロード

GET IT ON
Google play

※ mew-tiとは、首都高技術株式会社が提供するリアルタイム交通情報サービスの総称。

④高速道路ナンバリング等の活用によるわかりやすい道路案内 すべてのお客様にわかりやすい道路案内を提供するため、「高速道路ナンバリング」、「出入口番号」 の活用を推進

<案内標識や文字情報板の更新(写真①、②)>

- ・首都高速道路上の主要箇所については2018年度まで完了
- ・一般街路上については2019年度内完了を目標に整備を推進



①文字情報板での高速道路ナンバリングの事例



②案内標識での高速道路ナンバリングの事例

<ホームページ等での活用(写真③)>

- ・「首都高ドライバーズサイト」ホームページで、「ナンバリングの活用」ページを掲載
- ・ルートマーク及び出入口番号の表示内容を紹介し、土地勘のない出入口をご利用の際に活用できることを提案
- ・出入口番号をわかりやすく示した路線図を掲載
- ・ホームページでの料金・ルート案内や、道路交通情報アプリ「mew-ti」のルート検索機能も出入口番号に対応



③ドライバーズサイト
掲載状況

[3]環境への取組み

○ 環境への取組み姿勢

私たちは持続的発展が可能な社会の実現に貢献するとともに、よりよい環境の実現と地域社会との共生に向けて地球環境や沿道環境の保全に取り組んでいきます。 (首都高環境ビジョンより)

2019年度も環境への取組みを知って頂くための環境イベントを引き続き実施

	時期	イベント	場所
「おおはし里の杜」での稲作体験	6月4日(火)	地域の小学生による田植え体験	大橋ジャンクション 「おおはし里の杜」
	7月12日(金)	地域の小学生による自然観察会	
	10月8日(火)	地域の小学生による稲刈り体験	
	10月29日(火)	地域の小学生による脱穀体験	
ビオトープでの環境学習等	7～11月	専門学校生や大学生による環境学習、地域の幼稚園児による自然観察会等	見沼たんぼ首都高ビオトープ
首都高環境フェア【主催】	10月頃(土日)	首都高環境フェア in かながわ	
	11月頃(土日)	首都高環境フェア in お台場	
	春頃(土又は日)	首都高環境フェア in さいたま	

※稲作体験イベントの時期は天候等により変更となる場合があります。

※当社が実施している環境への取組みについては、『首都高環境サイト shuto-E-co』で紹介しています。

※報道機関のみなさまには、各イベントの開催日が近づきましたらご案内します。

《この1年に実施した環境イベントの様子》

・「おおはし里の杜」での稲作体験



〔田植え〕 2018.6.8実施



〔稲刈り〕 2018.10.2実施

・ビオトープでの環境学習等



〔専門学校生による環境学習〕
2018.9.7実施

・首都高環境フェア



〔首都高環境フェア inみなとみらい〕
2018.11.10-11実施



〔首都高環境フェア inお台場〕
2019.2.9-10実施



〔首都高環境フェア inさいたま〕
2019.5.12実施

3. 東京2020大会に向けた今夏における当社のTDMへの取組について

○ 一年後の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会時の交通需要抑制に向けた取組の一環として、今夏に、全社的にTDMの取組をする

[1] 今夏における当社のTDMの取組実施期間

日	月	火	水	木	金	土
7/14	15	16	17	18	19	20
21	7/22(月)～8/2(金) ※7/26(金)を『重点取組日』と設定					27
28						3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	8/19(月)～8月30日(金)					24
25						31

2019年7月22日(月)～8月2日(金)及び8月19日(月)～8月30日(金)の平日
※特に高い交通需要が見込まれる7月26日(金)を『重点取組日』と設定

[2] 期間中における当社のTDM取組内容

【主な取組】

- ・期間中**毎日**、**全社員の3割**(お客様と直接接する部門及び維持管理業務に携わる部門以外の社員は**5割**)がスライド勤務(※)、休暇取得、テレワークのいずれかを実施。
- ・**重点取組日**については、**全社員の5割**(お客様と直接接する部門及び維持管理業務に携わる部門以外の社員は**7割**)がスライド勤務(※)、休暇取得、テレワークのいずれかを実施。

(※)期間中を通じて**全社員がスライド勤務を必ず実施**

- ・重点取組日を含む週(7/22(月)～26(金))において、**日中の長時間の規制を伴う工事を取り止め**

【その他の取組】

- ・会議の実施を控える
- ・イベント、研修等の実施を期間前後に変更
- ・社用車の利用を控える
- ・水筒、弁当持参の推奨
- ・ゴミ総量の削減
- ・広報物等の納入時期を調整

※緊急の場合や業務上やむを得ない場合、実施が不可欠な場合を除く

[参考] 国、東京都における今夏的主要なTDM取組内容

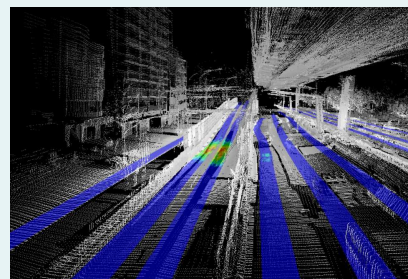
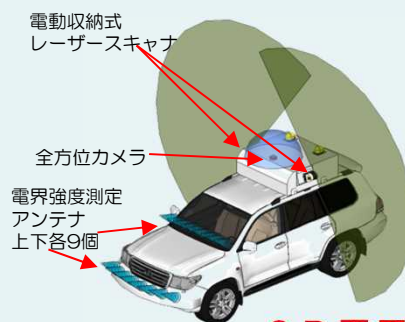
- ・休暇取得、テレワーク、時差出勤
- ・公用車及び庁用車の使用自粛、抑制
- ・イベント、研修等の自粛、実施時期変更 等

4. 開発した新たな技術について

- 首都高の2019年3月時点の知的財産権保有状況は
特許権140件(出願中含む)、実用新案2件及び意匠権12件(出願中含む)
- 首都高ETCメンテナンス㈱が主体となって開発した
「3D ETC Doctor (3D電界強度測定車・電波発射源可視化装置)」について紹介

3D ETC Doctor <実用新案出願中>

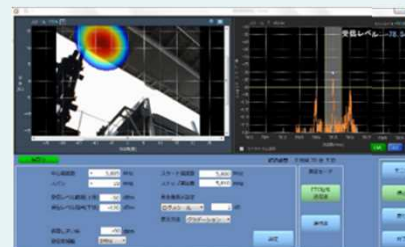
- ◆ETC設備の安定した運用を確保・維持するため、人の目に見えない電波の可視化による管理を実現
- ◆3D電界強度測定車を用いて、交通規制を伴わずにETC車載器の誤作動原因の一つである不要反射波・電波漏洩の発生箇所の探査、電界強度分布図と道路構造物との正確な位置把握やスマートインフラマネジメントシステム i-DREAMs® と連携が可能
- ◆電波発射源可視化装置を用いて、目視で確認することができない電波の到来方向の特定・把握が可能



3 D 電界強度測定車



反射波



電波の到来方向を判定



電波発射源可視化装置

5. フィリピン国外ロパシフィック・トールウェイズ(MPTC)との技術協力覚書の締結について

- 4月25日に首都高は、フィリピンの高速道路会社であるメトロパシフィック・トールウェイズ社(MPTC)、JEXWAYおよびNEXCO中日本の4者で技術協力に関する覚書を締結

[1]覚書の概要

①目的

高速道路関連分野における技術協力及び情報交換を通じ、質の高い社会基盤の整備を通じた豊かで快適な社会に貢献するため。

②締結者

首都高速道路株式会社

メトロパシフィック・トールウェイズ社(MPTC)

日本高速道路インターナショナル株式会社(JEXWAY)

中日本高速道路株式会社

③今後の予定

相互の課題・技術の情報交換を実施

比国のPPPプロジェクトに関する情報共有



マニラにてMOUを締結

前列左から: MPTC フランコ社長 MPTC パンギリナン会長 JEXWAY 黒田社長

[2]当社の技術協力に関する覚書(MOU)

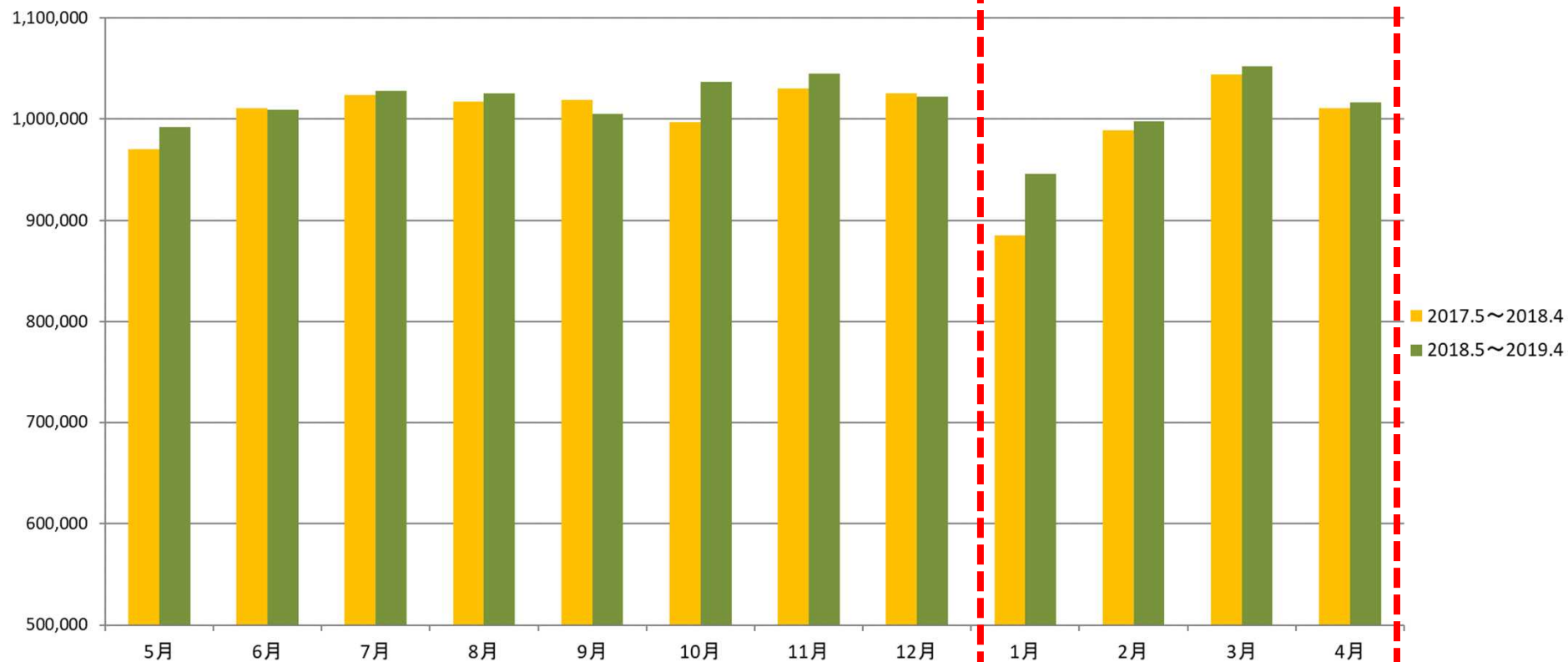
これまで7か国12機関とMOUを締結し、セミナーの開催、視察・研修受入などの相互協力を実施

国	MOU締結日	MOU締結機関
 タイ	2010年 4月 7日	タイ高速道路公社(EXAT)
	2012年 7月18日	バンコク高速道路・地下鉄株式会社(BEM) ※
	2012年 8月30日	ドンムアン有料道路株式会社(DMT) ※
	2015年 7月21日	タマサート大学シリントーン国際工学部(SIIT)
	2016年 9月13日	運輸省国道局(DOH)
 フィリピン	2018年 9月 4日	公共事業道路省(DPWH)
	2019年 4月25日	メトロパシフィック・トールウェイズ社(MPTC) ※
 カンボジア	2009年 8月24日	公共事業運輸省(MPWT)
 ミャンマー	2014年 4月23日	建設省(MOC)
 インドネシア	2010年 6月15日	アストラ トル ヌサンタラ社 ※
 フランス	2012年12月11日	コフィルート社 ※
 マレーシア	2015年12月 3日	プロリントス社 ※

※ 民間の高速道路会社

6. 最近の通行台数状況

(単位：台／日)



	1月	2月	3月	4月 (速報値)
通行台数 (万台/日)	94.6	99.8	105.2	101.6
前年同月比	106.9%	100.9%	100.7%	100.5%